

大呑ランタンフェスティバル

～空に向けて地域への想いや願いを飛ばし、大呑の魅力を多くの方に!～

団体名 ● 七尾大呑地域活性化プロジェクト（西村ゼミナール）

代表者名 ● 田口柊陽（人間科学部スポーツ学科3年）

はじめに(背景・目的・目標)

2023年度のランタンイベントの開催目的である、「地域の方が集まる場を作り、地域の方々にもっと笑顔になってもらいたい」、「地域を離れた若者が地元に戻ってくるきっかけづくり」、「地元交流人口拡大への貢献に繋げたい」に加え、2023年度は地元住民だけではなく過去に大呑地域でのフィールド活動を行ってきた、金沢星稜大学の卒業生も巻き込むことで、交流人口の拡大を通じて、大呑地域の魅力発信に展開していくことを目指した。

活動内容

(1)竹ランタン作り体験

日程：2023年9月23日(土) 15:00~17:00

場所：七尾市南大呑地域内

参加：参加者約30名

内容：南大呑地域の東浜集会所、南大呑コミュニティーセンターの2か所で行い、地元住民らと学生が共に、大呑地域で採れた竹を使ってオリジナルの竹ランタンを作成した。地元住民の方が学生と会話をするのはもちろんのこと、地元住民の方同士で楽しんで話をしていく様子も見られ、地域の交流の場ともなっていた。



活動の様子①



活動の様子②

(2)大呑ランタンフェスティバル

日程：2023年9月23日(土) 18:30~

場所：東浜漁港

参加：来場者約60名

内容：昨年に続いて2回目のイベントとなり、夜空にはランタンを灯し、大地には竹ランタンの灯りをともし、大呑の空と大地を灯火で飾っ

た。今年度は昨年よりランタンの数を増やしたことに加え、竹ランタンをともに灯すことで規模を大きくイベントを開催した。



活動の様子①



活動の様子②

成果、結果の考察

企画・運営の中心メンバー学生は複数回にわたる事前訪問を行い、イベント開催に向け地元関係者との入念な準備を行った。イベント開催を告知するチラシも学生で準備し、地域に配って参加を促した。イベント開催の告知は南大呑地域に限っての告知であったが、地域外からの参加者の姿も見ることができた。ランタンがうまく打ちあがらないというアクシデントもあったが、地域の方が集まる場を提供することができた。

今後の課題、展望

今年で2回目となるこのランタンイベントであったが、今年は昨年よりもランタンを飛ばす数を増やし、規模を大きくした形で実施した。今後はさらに規模を大きくすることや継続して実施していくことで南大呑地域の1つの魅力となるようにしていきたい。また地域外からのイベント参加者を増やすことも視野に入れ、交流人口の拡大を目指していきたい。